

WELFARE group presents それ U.K.!! ミライ bridge



パートナーズ・カフェ

U. K.:ここからは、大阪なんばにある FM OH!の中に、日曜日のこの時間だけオープンする「パートナーズ・カフェ」。マスターの U.K.です。今日もそろそろ大阪の介護・福祉施設で活躍するスタッフが、誰かを連れてくる予定なんです。

きったん:マスター こんにちは。介護あかるくらのきったんです。

U. K.:きったんさん、いらっしゃい。横には、紳士のロマンスグレーの雰囲気の方がいらっしゃいますね。お連れの方はどなた？

きったん:今日は産婦人科医の先生に来てもらいました。

加藤::レディースクリニックかとう院長の加藤宗寛と、申します。

U. K.:加藤先生、宜しくお願いします。

加藤::UKさん、初めまして。よろしく申し上げます。

きったん::阪急川西能勢口駅から徒歩1分、レディースクリニックかとうは加藤さんが3代目。私も行って見たのですが、話しやすい先生で、色々お話聞いてくださって、女性の生涯の味方、をキーワードとしてはなしてくださいました。

加藤::女性の味方は、私のオリジナルではなくて、大阪大学産婦人科教室の教授に教えていただいた言葉なんです。ミカタというのは、文字通り女性の味方であり、医師としての診かたであり、看護師や他の医療者にとっては看かたと、いろんな意味をかけています。

U. K.:なるほど。自分の仲間という味方や、診察のしかたという診かた…

きったん:色んな職種の方と連携されていて、理学療法士さんやスポーツインストラクターさんを入れて、女性リハビリを治療に取り入れたり、事務職員さんがよもぎ蒸し勉強してサービスに取り入れている。リラクゼーションスペースがクリニックの中にあたりしてー。

加藤::小さなクリニックなんですけど、私のもう一つのモットーは、病院と美容院は一字違いで大違いということです。美容院に行って不快な気持ちで出てきたら、2度とそこへは行かないですよ。癒しがあって、診療が終わったときは 少しでも前向きになってお帰りいただきたいもの。

U. K.&きったん::ああ、そうですね。

加藤::病院で長いこと待たされて、そこでろくに話も聞いてもらえず、ただ処置と薬だけもらって帰ってくれば、どう思われるでしょうか。大病院の勤務医を30年間勤めましたが、職種間の縦割りの勤務で苦労しました。我々も含めて 職場間の連携が取れていない。例えば、理学療法士と助産師、お互いに何をやっているか知らなかったりする。

きったん::加藤先生から聞いた話、お産の時、テニスボールでおすやつ、よく旦那さんがサポートおしてあげるって話ありますけど、あれを理学療法士さんがやったら分娩の痛みが和らいたとか。

U. K.: 確かに、旦那さんがやるもんだと思っていたけど、プロのリハビリの人がお産のサポートをしてもいいのか――。

加藤: プロがツボを押さえれば、無痛分娩とまでは行かなくても、和痛分娩にはなるでしょう。

きったん: 加藤さんは、西洋医学と東洋医学の違いも話されていました。

U. K.: お聞きしていると、加藤さんのアプローチは東洋医学に近い感じがします。

加藤: 西洋医学は合理的で、症状に対して処置をする。東洋医学は体全体を見るのが得意です。全体を見るというのは、カラダ全体をみるということもそうですが、人生全体をみるということでもあるんです。女性は7歳ごとに年を取ると言われています。昔は14歳で初潮、49歳の閉経で人生が終わっているんですが、今は人生100年時代に向けた閉経後の問題まで見ていく必要があるでしょう。60代70代の閉経後の女性も女性医学のターゲットですよ。

U. K.: 女性の生涯のミカタというのがしっくりきます。

きったん: 月経に対する考えの違いも話されていましたね。

加藤: まあ 世の東西を問わず女性は豊穡のシンボルなんですけど、月経についての考え方は西洋と東洋で違いますよ。西洋、特にキリスト教社会では月経(menstruation)は忌むべきものとされていますね。日本ではこれを生理と呼び、初潮を祝う。成熟した女性になるということですよ。

U. K.: なるほど…赤飯食べますもんね。生理は、女性の敵ではないと――。

きったん: 加藤さんは、大きな病院でも勤務されていましたが、効率的に患者さんを診ようとするとなんて一人当たりの時間が少なくなってしまう。けれど、レディースクリニックかとうでは、一人一人の患者さんのパーソナリティをよく聞き取って、丁寧な医療を実現されています。

加藤: 診療においては、なるべく対話主体を心がけています。1人1人を丁寧にみて診察していくので、その分時間はかかりますけどね。同じ症状の人でも、背景が違えば処置 アドバイスも違うでしょう。

U. K.: 応援させてください。これからミライにむけて、実現していきたいこと等あれば教えてください。

加藤: 今日はお話しできませんでしたが、技術革新で女性をサポートするフェムテックなんていう新しい分野にも目を向けてみたいですね。(還暦を過ぎても)チャレンジしていきたいですね。

U. K.: 本日のゲストは、レディースクリニックかとうの加藤宗寛さんでした！また遊びに来て下さいね。ありがとう！

き&加藤: ありがとうございます。